

2023 新春号

vol. 129

広報誌

躍進

やくしん

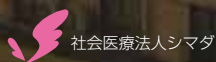
題字：前理事長 嶋田 國重

特集

- ◎ 新年のご挨拶
- ◎ 肝臓内科特集



フォローをお願いします。



撮影/病院屋上からの日の出



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様は年末年始をどのように過ごされたでしょうか。

嶋田病院では、新型コロナウイルス感染症の流行期と重なったこの年末年始は特別な体制で、12月31日から1月3日までの4日間に約320人の感染疑いの患者さんの診察を行いました。同時に救急車41台を受け入れ救急の態勢も維持しました。60年前に当院を創設された嶋田國重先生は「病気に盆も正月もない」と言われましたが、まさに暮れもお正月もなく地域の救急医療を支えてくれたスタッフに深く感謝を申し上げます。

2025年問題の渦中に起きているこの感染症の流行はいずれかの形で定常化すると考えられ、これからは高齢者の人口ピークと労働人口の減少が深刻となる2040年をどのような医療体制で迎えるかを考える時期になってきました。そのためにも地域医療構想と地域包括ケアシステムの整備が進められています。地域医療構想においては、当院は小郡三井地区における急性期病院としての役割を担う計画を提出しています。地域包括ケアシステムでは、地域医療支援病院の立場で紹介患者への医療提供や医療機器等の共同利用、地域医療機関への支援を行いつつ、在宅療養支援病院の立場として可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療と看護と介護、住まいや生活の支援を行う病院の役割を担っています。

当院はコロナ以前から地域の医療機関との連携を密にとり、当院で急性期治療のめどがついた患者さんを紹介させていただき早期に転院や在宅で受けてもらっていました。感染症流行下においては、コロナの患者さんを増悪傾向がないと判断した時点で、療養期間内であっても転院や退院を受けていただいています。この連携で当院の感染病床をより急性で重症の感染患者さんに活用できるようになり、多くの患者さんを治療することができました。これは嶋田病院だけでできることではなく、今までの連携を基礎とした地域の医療機関や先生方のご理解とご協力があったとのことだと、大変ありがたく思っています。

一つの医療機関、一つの法人でやることには限界があります。地域の医療機関同士がそれぞれの立場で地域に必要とされることを、個々の多様性を大切にして機能を補完しあって共生することで、より柔軟な医療体制をとることができると思います。

2023年はどのような年になるのでしょうか。地域の皆様が安心して生活ができて、もし病気になっても大丈夫と思っていただける病院となれるよう、より精進してまいります。

最後になりましたが、皆様にとってよりよい一年になりますよう祈念致します。

今年もよろしく願いいたします。

令和5年1月

西村一宣



新型コロナ ウイルスでの当院の対応

2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症。当院では発生当初から帰国者接触者外来（現在は発熱外来）、ワクチン接種を行い、現在は感染症病床にて感染されてしまい、入院が必要な方を受け入れています。

当院では感染症対策のため全入院患者さんへの抗原検査を実施。風邪症状が無い方であっても、コロナ陽性の場合もあり気が抜けません。他にも様々な感染症対策を行っています。

その結果、現時点（2022年12月末）で、院内クラスター事例は1例も発生しておりません。



ワクチン接種の様子

感染症病床では毎日10名を超える（2022年12月）患者さんが入院されている状況が続いています。

ワクチン接種は月・火・水・金の週4日実施しており、毎回100名程度の方が接種されています。



感染症病床の様子



感染症病床



発熱外来（予約制）は日・祝日も含めて、毎日40～50名ほどの患者さんが受診されています。

また年末年始（12月31日～1月3日）は近隣の医療機関も休診されるため、当院が発熱外来の特別診療体制を組み、毎日100名弱の患者さんに受診して頂くことが出来ました。ただし、それでも比較的症状が軽い方は抗原キットを配布し、自己検査にご協力を頂いたり、やむを得ずお断りをした事例もあります。経済活動も活発になってきている状況だからこそ、まずはご自身で出来る感染対策の徹底を改めて行って頂きたいと思います。



発熱外来

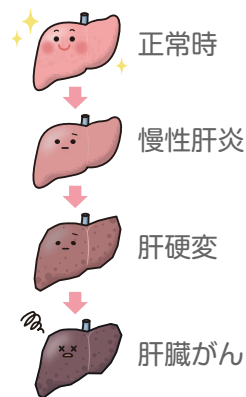
まだまだ気が抜けない状況ではありますが、これからも地域の皆様の安心と健康を守るため、当院にできる最大限のことを実施し地域貢献をしていきます。

「沈黙の臓器」肝臓

肝臓について

肝臓の働き
 ●代謝 ●エネルギーの貯蔵
 ●解毒 ●胆汁の生成 など

体の中でも幅広い働きを担っています。そんな体の中で大活躍している肝臓ですが、影では「沈黙の臓器」と呼ばれることもあり自覚症状が出たときには既に潜んでいた病気が進行していたということも…。そうならないためにも、症状が無いうちに健診などで積極的な検査を行うことがとても重要です。



肝臓の病気について

一般的な肝臓の病気

ウイルス性肝炎

お酒の飲み過ぎ

B型肝炎
(血液・体液)

C型肝炎
(血液)

アルコール性肝障害
(アルコール性脂肪肝)

最近はそれらに関係なく発症する肝臓病として「非アルコール性脂肪性肝疾患」や「非アルコール性脂肪肝炎」が注目されています。これらは、進行すると肝硬変や肝がんになる恐れもあります。また、肝臓がんの原因として従来まではB型肝炎やC型肝炎などの肝炎ウイルスによるものが多かったのですが、現在では先程あげた「非アルコール性脂肪肝」や「アルコール性脂肪肝」によるものが増えてきています。

肝臓の病気を見つけるための検査

肝臓に異常がないか確認するための簡単な検査

- 1 血液検査
 - 2 腹部超音波検査
- があります。

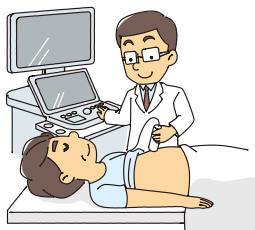
お酒、飲まないのに肝炎になるの？



1 血液検査

項目	説明
AST、ALT	肝細胞が炎症をおこしたり壊れたりすると細胞内からこれらの酵素が出てくるため、酵素の量から肝細胞の状態を見ることが出来る。
γ-GTP	肝臓や胆道の状態をみる事ができる。アルコール性肝障害の1つの指標となる。
Alb	アルブミンは主に肝臓で作られるタンパク質。血液中のアルブミン量が低下すると全身のむくみや腹水などの症状をおこす。
血小板	肝臓の線維化が進むと数値が減少していく。
ビリルビン	黄疸の有無や種類を知ることができる。
FIB-4 index	肝臓の硬さを数値化したもの。AST、ALT、血小板の数値と年齢を所定の計算式に当てはめることで算出できる。

血液検査で簡単に肝臓検査ができるよ！



2 腹部超音波検査(エコー)

まずベッドに横になり体の表面に検査用のゼリーを塗ります。その後、機械をあて体内の臓器から跳ね返ってくる超音波を画像として映し出し、臓器に異常がないかを調べることができる検査です。検査自体に痛みはなく放射線による被ばくの心配もないため体への負担が少ない検査です。

医師紹介



肝臓内科

久留米大学 消化器内科 准教授

ありなが てるこ
有永 照子 医師

【外来】

毎週水曜日 午前・午後

【資格】

日本内科学会 認定内科医・指導医
日本消化器病学会 評議員・指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本肝臓学会 西部会評議員・指導医・専門医



脂肪肝に
ならないためには、
運動
しなくっちゃ！



肝臓内科 有永医師への一問一答



Q 日常生活の中で脂肪肝にならないために気をつけた方がいいことは？

A 昔に比べ車や家庭電化製品などで便利になり、生活でのカロリー消費量が減っています。逆に食品はあふれ、特に糖質類が多い食生活になっておりカロリー摂取量が増えています。
適度な運動を行うと共に、食事内容を見直し体重増加に気をつけましょう。



Q 読者の方へ一言！

A 筋肉が落ちないように若さを保ちましょう。
また、肝機能異常があれば症状がなくても受診し、腹部エコー検査を受けましょう。

肝炎コーディネーター

肝炎コーディネーター(福岡県認定)とは肝炎に関する啓発活動やウイルス検査の受検・勧奨、陽性者の受診勧奨など肝炎医療が適切に行えるよう身近な相談役として様々な場で活動をしています。

当院では肝炎コーディネーターが3名在籍しています。早期発見・早期治療ができるよう当院を受診された方々の検査結果を確認し、受診が必要な方には声をかけて受診を促しています。今年度からはFIB-4Indexという指標を活用し、より積極的な介入が行えるよう活動しています。



✓ 脂肪肝チェックシート 4つ以上✓のある方は一度、検査を受けてみましょう！

- ウエスト周囲径が平均以上ある [肥満：男性 85cm以上 女性90cm以上]
- 太っている [20歳時より10kg以上増加している]
- 毎日、お酒を飲んでいる
- 早食い、大食い、まとめ食いをする
- 好き嫌いがある、偏食が激しい
- 不規則な生活をしている
- 甘いもの、脂っこいもの、こってりしたものが好き
- 塩分の過剰摂取をしている [1日の摂取量は10g以下]
- 定期的に適度な有酸素運動をしていない [徒歩なら毎日30~40分(1万歩弱)]



新任医師紹介



内科

ありま ふみとう
有馬 文統 医師

新任内科の
やさしい先生
です！



資格 日本内科学会 認定内科医
日本内科学会 総合内科専門医
日本血液学会 血液専門医
JMECCインストラクター

趣味 二輪(バイク、自転車) バasketボール
地域の皆様へ 専門診療科にとらわれず診療をして参ります。
どうぞ宜しくお願いいたします。

有馬医師のご紹介

内科医として知識を生かして内科全般疾患を診られていく意向をお持ちの先生です。
資格には「日本血液学会 血液専門医」を保有されており、福岡県でも約200名の医師しかこの資格は保有されていません。
とても気さくで相談しやすい先生です。

診察をご希望される方は診察予約をお願いします。

予約受付日時:月曜日～土曜日 14時～17時まで TEL:0942-72-2236

旬の食材 献立特集

旬の美味しい食材をつかったおすすめレシピ



栄養量
1人あたり
210 kcal
塩分1.5g

ごまの風味豊かな味わい
さばのごまみそ煮



栄養量
1人あたり
95 kcal
塩分0.6g

炒めるとβ-カロテンが約40%up
炒り人参

▶材料 4人分

- さば切身・4切れ(1切80g程度)
- 濃口しょうゆ……大さじ1強
- ケチャップ……大さじ1弱
- 酒 ……………大さじ1
- 砂糖 ……………大さじ1
- 水 ……………1/2カップ(100ml)
- みそ……………大さじ2/3
- すりごま ……………大さじ1.5

▶作り方

- ① 鍋にAを入れて一煮立ちさせる。
 - ② さばを加え、中までしっかり火を通す。
 - ③ 煮汁にみそを溶きすりごまを加え、仕上げる。
- ※ 季節の野菜を添えると彩りも良くなります。

▶材料 4人分

- 人参 ……2本(1本130g程度)
- ツナ…1缶(固形量100g程度)
- 濃口醤油 ……大さじ1/2
- 塩こしょう ……少々
- 植物油 ……小さじ1
- 花かつお ……1P(10g)

▶作り方

- ① 人参は皮をむいて千切りにして、フライパンに油をひき、人参を入れてしんなりするまで炒める。
- ② ①に塩こしょうをし、ツナを加え醤油で調味する。
- ③ 花かつおを入れてさっと混ぜ合わせる。

令和4年
11月18日

防災避難訓練

11月18日に三井消防署ご協力の元、防災避難訓練を行いました。



今回は病院にある化学薬品から出火した想定で初期消火から避難誘導までを行いました。

化学薬品から出火という日常生活ではなかなか無いシチュエーションですが、病院では多くの薬品があります。普段では想定しないような状況下での訓練に、参加した職員はそれぞれ真剣な表情で訓練を行っていました。また、患者さんを避難させることが想像以上に大変で、まずは火事を起こさせない。もしも発生をしてしまった場合は初期消火を確実に実施し、安全に患者さんを誘導避難させる。という基本も消防隊員の皆さまから教えて頂きました。とても充実した訓練になり、これまで以上に防災意識の向上を行うことができました。

みんなで助け合い
みんなの命を守る！



シマダのチカラ

「シマダのチカラ」では嶋田病院を支えるスタッフを紹介していきます。

肝炎医療コーディネーターとして どのような活動をしていますか？

私は普段、診療データに関わる業務を主にしています。その業務を活かし肝炎ウイルス陽性者や検査に異常がある方を診療データより抜き出し、結果説明の有無や腹部超音波検査などの必要な検査が実施されているかをモニタリングした上で、現場へフィードバックしています。

直接的に患者さんと接する機会は少ないですが、裏方として活動を行っています。

肝炎医療コーディネーターの資格をとろうと 思ったきっかけはなんですか？

診療情報管理課へ所属する前は、医師事務作業補助者として診療支援課へ所属しておりました。医師事務作業補助者として活動していた中で、肝炎医療コーディネーターの存在を知り、医師や患者さんのために何かできることがないかと考え、資格をとることを決意しました。

第19回

診療情報管理課に所属しながら肝炎医療コーディネーターとしても活動している安部 郁弥さんにインタビューしました。



Profile

安部 郁弥さん
(あべ ふみや)

出身地 大分県大分市

勤務年数 8年目

趣味・特技・休日に行っていること

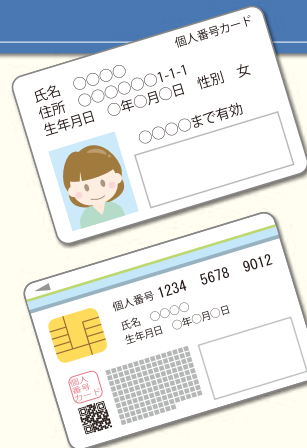
趣味：野球観戦や登山。
同僚や先輩方と一緒に登る山は
とても楽しいです。



読者のみなさんに一言！

肝炎医療コーディネーターとして患者さんと接した中で、実際に治療に繋がった方から感謝の言葉を頂きました。当院は病院理念として「地域住民の方々安心して暮らしていけるように質の高い医療を提供していく」ことを掲げています。この理念を大切に、これからも患者さんのためより良い活動を行っていきたく思います。

2022年6月15日より健康保険証の代わりに
マイナンバーカードで受診できる
ようになりました。



オンライン資格確認端末(マイナンバーカードによる保険証確認)

◆ご利用可能時間/7:00~22:00

保険証と違って薬剤情報・健診情報も病院に伝えることが出来ます。ぜひご利用ください。

ご自身の健康保険情報、薬剤情報・医療費通知情報、特定健診情報等がマイナポータルで閲覧できるようになります。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、初回登録を行う必要があります。

学術活動[学会発表]令和4年10月~12月

日付	2022年10月7日
所属	診療部 医師
発表者	赤司 朋之
学会	地域で取り組む糖尿病ケアのSDGs

日付	2022年11月25日
所属	診療部 医師
発表者	三島 壮太
学会	第84回 日本臨床外科学会総会 座長

日付	2022年12月3日
所属	診療部 医師
発表者	矢山 貴之
学会	第120回 日本消化器病学会九州支部定例会

診療実績	2022年9月	2022年10月	2022年11月
新入院患者数	259人	283人	268人
救急車搬入数	223人	223人	211人
初診紹介数	485人	459人	465人
紹介率	56.8%	65.1%	60.0%
平均在院日数	8.2日	8.4日	9.9日



病院理念

1. 地域住民の方々が安心して暮らしていけるよう、広域の医療機関と連携し、質の高い医療を提供することにより社会貢献していきます。
2. 職員が物心両面において満足感と幸福感を持てる病院をめざします。

基本方針

- 1.救急医療 2.住民の健康管理 3.地域連携 4.自己研鑽

【編集後記】

あけましておめでとうございます。当院の年末年始は新型コロナウイルスの対応で大変な年末年始となりました。

その中でも職員一人ひとりが患者さんに寄り添った対応を行い、地域医療に貢献できたと感じています。

当院は当初から帰国者接触者外来・ワクチン接種・発熱外来・入院患者受入れなど、積極的にコロナに対して向き合ってきました。

病気はコロナだけではなく、感染力が高い病気でリスクが高い方は命の危険もある病気です。

一人ひとりが意識して行動することの大切さ。距離を取る状況だからこそ、相手を思いやる大切さを改めて考えさせられる病気だと感じます。

みなさまも健康に気をつけて大切な一日を過ごしてください。本年もよろしくお願いたします。

[編集/広報委員 本間 翼]